

質問 全国で約9千人の学童保育クラブ待機児童が発生しており、学童保育クラブの増設と内容の充実が求められている。町では、現在6か所の施設で289人が利用しており待機児童はゼロであるが、保育園よりも利用時間

が短い保護者からは時間の延長や内容の充実が強く求められている。今後の法改正などにより特色ある学童保育クラブの運営や時間延長などの一層の充実を図る必要があると思うが、町長の所見を伺う。

長についても協議し、実施できる見込みである。既に、都知事に対し、法人認証申請が提出され、早ければ、来年度から学童保育クラブ運営を委託できるものと思う。引き続き、運営の充実を図っていく。

高水 永雄 議員（自民新政会）

学童保育クラブの運営と時間延長等のサービス拡大を

町長 27年度から実施できる見込み

町長 「子ども子育て関連3法」が施行されることとなり、学童保育クラブの対象児童は、小学校6年生まで引き上げられる。町は、数年前から学童保育クラブ指導員の皆さんと、NPO法人化について話し合いを重ねてきたが、この中で、時間延

町長 「子ども子育て関連3法」が施行されることとなり、学童保育クラブの対象児童は、小学校6年生まで引き上げられる。町は、数年前から学童保育クラブ指導員の皆さんと、NPO法人化について話し合いを重ねてきたが、この中で、時間延

こんな質問もありました
土砂災害の被害を最小限に防ぐ対策を

町長 警戒区域を重点とし、正確な情報伝達と避難誘導について関係機関との協力体制を強化する。



第二小学校学童保育クラブ（長岡地区）



小川 龍美 議員（公明党） 子宮頸がんワクチンの安全性の周知と ワクチン接種の勧奨を

町長 国の研究結果を待たざるを得ない

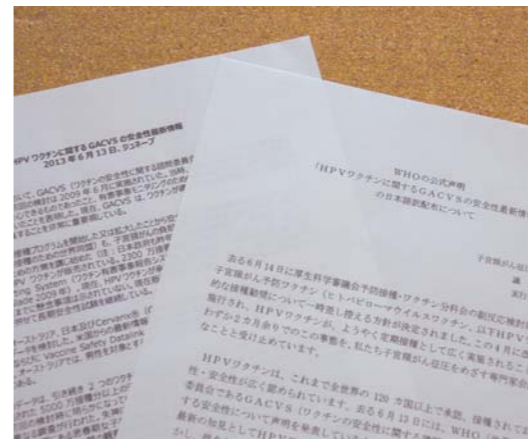
質問 子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的勧奨が中止されて1年以上が経過した。ワクチン接種後の有害事象について、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会では、ワクチン自体との因果関係は乏しく、機能性身体症状であると判断した。また、この間、WHOはHPVワクチンの安全性に関する声明を3回出した。町としても、ワクチンの安全性を周知し、ワクチン接種の勧奨を行うべきと考えるが、所見を伺う。

町長 23年度から延べ1300人の方がワクチン接種を受けた。副反応に関する報道後、町では1名の方から体の不調とワクチン接種

の関連性について相談を受けた。副反応への不安が高まった中で、町民の方々が自己判断するためには、リスクが他の接種と同等かそれ以下であることを証明して欲しいと願うのは当然と思う。したがって、積極的な勧奨は、国の研究結果を待たざるを得ない。なお、町

こんな質問もありました
地域包括支援センター機能の拡充を

町長 28年度1カ所の増設に向け準備を開始する。



WHOのHPVワクチンの安全性に関する声明文



大坪 国広 議員（日本共産党）

第6期介護保険制度の改定について

町長 保険料の負担増は避けられない

質問 医療・介護総合法は、公的介護・医療保障を土台から掘り崩す内容で、多くの住民から今後、安心して医療・介護サービスが受けられるのか不安の声が上がっている。次の4点について所見を伺う。

町長 医療・介護総合法は、公的介護・医療保障を土台から掘り崩す内容で、多くの住民から今後、安心して医療・介護サービスが受けられるのか不安の声が上がっている。次の4点について所見を伺う。

問① 「要支援」の訪問・通所介護の利用者は、今迄通りサービスが受けられるか。

町長 現在サービスを受給されている人は受けられる。必要サービスは、必要なサービス

問② 介護保険料、利用料の町独自軽減策を、独自の軽減策を拡大すれば、国民健康保険制度と同様の財政事情となかなかねず、慎重であるべき。

町長 現在サービスを受給されている人は受けられる。必要サービスは、必要なサービス

問③ 在宅で、寝たきり高齢者の手厚い支援



町内デイサービス合同展示会の様子（町民会館）



小野 芳久 議員

機能別消防団員制度の検討を

町長 現時点で制度化する予定はない

質問 今年は、豪雪、土砂災害、噴火等様々な災害が全国的に発生し、多くの方が被害にあわれた。災害対応については、様々な機関だけでなく、地域に根ざした消防団が昼夜を問わず活動している。しかし、時代の潮流に

より団員の就業形態が変化し、自営業者が減り、大災害や昼間の火災等に対する消防力の低下は否めない。そこで、消防団OB等経験者による機能別消防団員の検討を進めるべきかと考えるが、町長の考えを伺う。

より消防団に入団するよう勧めている。現時点で機能別消防団員を制度化する予定はない。しかし、消防団OBと経験者の方々に、これからも地域防災マップの作成や避難経路の確認、総合防災訓練への参加の呼びかけや防災パトロールなど、地域の自主防災組織に積極的に関わっていただくようお願いしていく。



町の消防団が参加している林野火災消防演習の様子（野山北・六道山公園）